

様式③-1

事業地区・箇所別概要（1）

令和2年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート（継続事業）

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業名 道路改築事業	地区・箇所・路線名 一般国道477号（尾平工区）
②事業担当課	担当課 道路建設課	担当班 道路建設班
		電話番号 059-224-2630
③事業施工場所	地域（市部・郡部/一般・準過疎・過疎） 四日市	市町字名 市部 一般 四日市市 尾平町
④事務事業名	道路改築事業	
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成	
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上	

2 事業の概要

事業の目的 一般国道477号（尾平工区）は、一般国道477号（現道）の渋滞解消、四日市市街地および特定重要港湾である四日市港へのアクセス向上による地域の活性化を目的に平成14年に暫定2車線で供用された延長約3kmのバイパスのうち、平成21年から平成30年にかけて四日市拡幅にて4車線化した2.6kmの残り0.4kmと四日市鈴鹿環状線との交差点改良事業である。また平成30年台に当該バイパスまでの供用開始が計画されている北勢バイパス、H30年末に供用の新名神高速道路菟野IC接続による増加交通量分担を担う事業でもある。			
事業の概要		事業採択	2019年度
延長	600m	物件補償	1式
幅員	13.0(25.0)m	事業着工	2019年度
道路工	600m	事業完了	2022年度
交差点改良工	1箇所	供用開始	2023年度
用地買収	1式	全体計画事業費(億円)	6.500
		全体計画工期(年数)	4年

3 事業計画の進捗状況

実施済み事業の概要	事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]
	2018年度までの事業進捗率 0.0%
	2019年度完了までの事業進捗率 24.0%
	実施済み総事業費(億円) 1.559

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)	必要である ○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定（該当する項目にチェックする）		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間（5～10年）を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定（該当する項目にチェックする）		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したものと及び事業効果が著しく低下した事業 <input type="checkbox"/> 事業の主な目的を喪失した事業 <input type="checkbox"/> 需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 <input type="checkbox"/> 用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 <input type="checkbox"/> 主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	

6 評価結果

評価実施年度	令和1年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	

※優先度区分について

優先度Ⅰ	: 事業進捗を図り、早期事業効果の発現に努める継続事業
優先度Ⅱ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準以上で、熟度が高い新規事業
優先度Ⅲ	: 地域補正後の経済効率性が分野別の基準未満で、熟度が高く、緊急性や戦略性が高い新規事業
優先度Ⅳ	: 優先度Ⅱ・Ⅲ以外の新規事業
優先度Ⅴ	: 中止する事業